

患者の皆様へ

2020年5月7日

肝胆膵外科

現在、千葉大学医学部附属病院肝胆膵外科では、日本肝胆膵外科学会、韓国肝胆膵外科学会の協力により「膵頭部癌門脈合併切除例における血管切除範囲・再建法とその治療成績の検討―日韓共同プロジェクト研究―」という研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では千葉大学医学部附属病院肝胆膵外科で2016年12月31日までに膵頭部癌で門脈合併切除膵頭十二指腸切除を受けた方の診療情報などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名

膵頭部癌門脈合併切除例における血管切除範囲・再建法とその治療成績の検討
―日韓共同プロジェクト研究―

2. 研究の意義・目的 膵臓の周りには門脈と呼ばれる大切な血管があります。膵頭部癌では、根治手術を行うため、門脈に癌が入り込んでいても積極的に門脈合併切除を行い、その血管の再建術をしております。しかしその門脈の切除範囲は癌の広がりによって大幅に変わり、どこまで切除するのが安全で予後改善に寄与できるのか明らかになっておりません。本研究では、日本肝胆膵外科学会の高度技能専門医の認定修練施設あるいは韓国肝胆膵外科学会の会員施設において、膵頭部癌にて門脈合併切除を行った患者さんのデータを調査し、門脈切除範囲やその再建法とその治療成績を明らかにします。これにより難治性癌である膵癌の治療成績向上に繋がる可能性があると考えております。

3. 研究の方法

●対象となる方

2013年1月1日から2016年12月31日の間に膵頭部癌にて門脈合併切除膵頭十二指腸切除術を受けた方

●研究期間

東京医科大学倫理審査承認日（2020年02月12日）から2020年12月31日

●利用する検体やカルテ情報

患者さん情報、術前治療、手術成績、術後治療に関する情報や予後データを収集します。検体は利用しません。

4. 個人情報の取り扱いについて

カルテから情報を得た時点で氏名、住所、生年月日等の個人を特定できる情報は削除し、個人情報とは無関係な番号を付番します。データ解析の際には匿名化後のデータのみを扱うため、個人を特定できる情報は含まれません。研究の成果を学会あるいは誌上に公開する際にも、個人を特定できる形で公表しないよう、厳重な管理を行います。被験者のデータ管理、症例の取り扱いにおいては全て被験者識別コード又は登録番号により管理され、被験者識別コードおよび登録番号と氏名の対応表は千葉大学大学院医学研究院臓器制御外科学研究室の施錠可能な書類保管庫に厳重に保管されます。

5. 外部への試料・情報の提供

上記の通り、電子カルテから得られる情報は匿名化されたデータとして、代表研究機関である東京医科大学 消化器・小児外科学分野に集積され、全てのデータが解析されます。

6. 研究組織

【研究代表機関】

1) 研究責任者

永川 裕一 東京医科大学 消化器・小児外科学分野 准教授

2) 統計解析担当者

刑部 弘哲 東京医科大学 消化器・小児外科学分野 助教

3) 研究データ管理者

刑部 弘哲 東京医科大学 消化器・小児外科学分野 助教

4) 試料・情報等に関する管理責任者

刑部 弘哲 東京医科大学 消化器・小児外科学分野 助教

5) 個人情報分担管理者

刑部 弘哲 東京医科大学 消化器・小児外科学分野 助教

6) 研究事務局

永川 裕一

東京医科大学

消化器・小児外科学分野

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-7-1

TEL 03-3342-6111

FAX 03-3345-1437

E-mail naga@tokyo-med.ac.jp

【共同研究機関】

千葉大学大学院医学研究院 臓器制御外科学

研究責任者：教授 大塚将之

研究分担者：講師 高野重紹

研究分担者：助教 賀川真吾

他、日本肝胆膵外科学会の高度技能専門医 認定修練施設(A、B) 128 施設

韓国肝胆膵外科学会の会員施設 10 施設

7. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をします。ので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

本件のお問合せ先：

研究実施機関：千葉大学医学部附属病院肝胆膵外科

研究実施責任者：大塚 将之

043（222）7171 内線6731